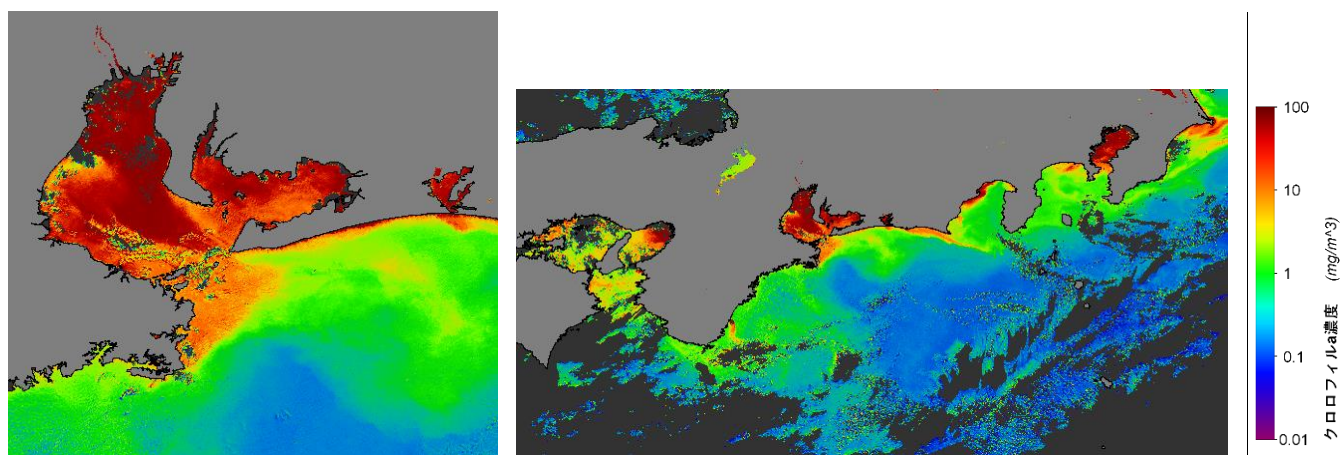


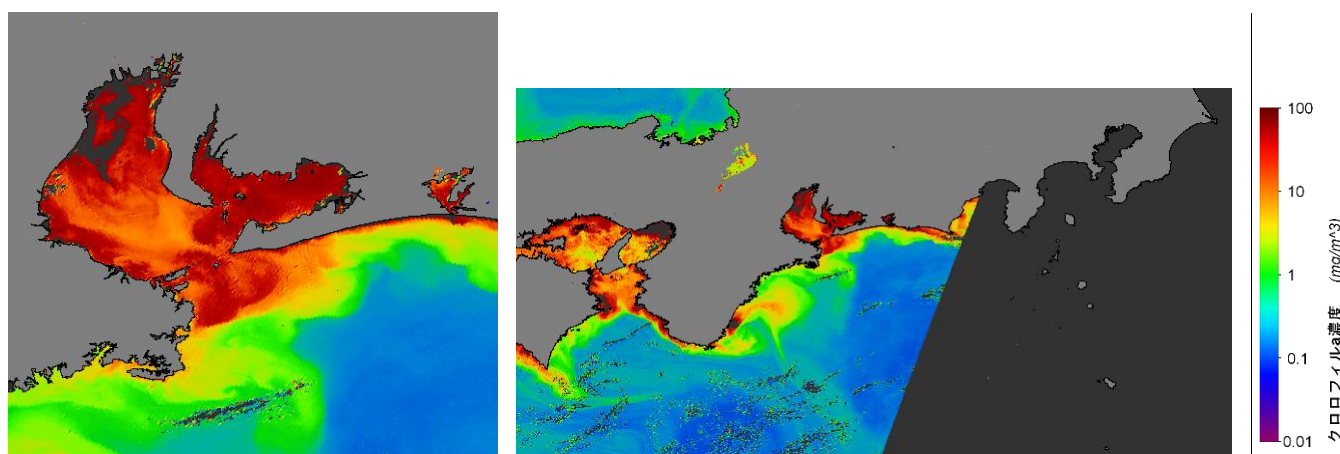
8 月 25 日の人工衛星クロロフィル a 画像を見ると、23 日の降雨の影響で伊勢・三河湾ともに高濃度域が広がっています。渥美外海沿岸は黒潮からの強い暖水流入が見られないため、やや高い値となっています。

クロロフィル a 濃度の経時変化を見ると、8 月中旬に上陸した台風 10 号の影響ですべての海域で一時的に上昇し、23 日の降雨も相まって比較的高い値で推移しています。
 (宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 提供の SGLI 画像)

しきさいによるクロロフィル a 濃度分布 (8 月 25 日)



しきさいによるクロロフィル a 濃度分布 (8 月 17 日)

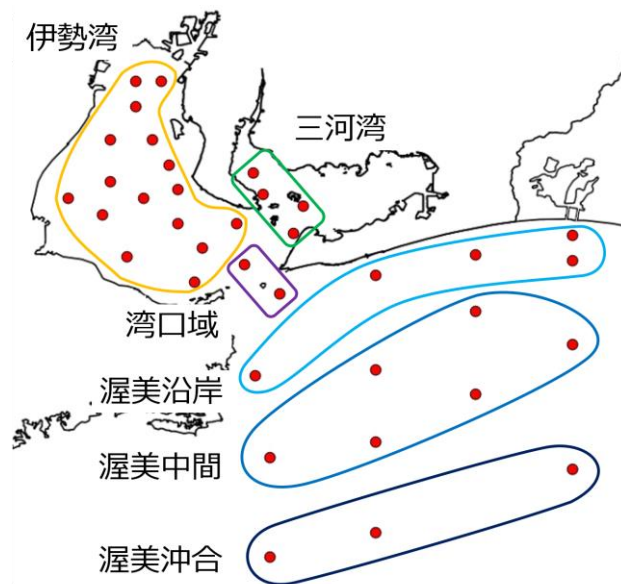
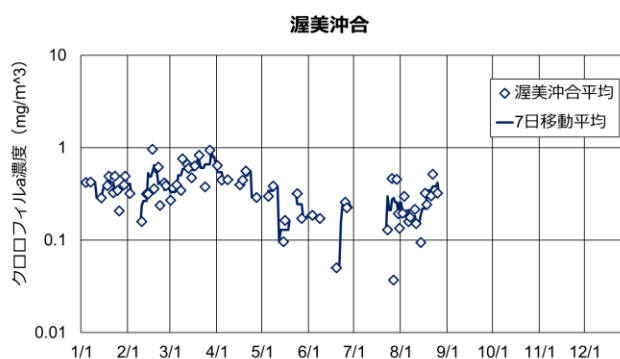
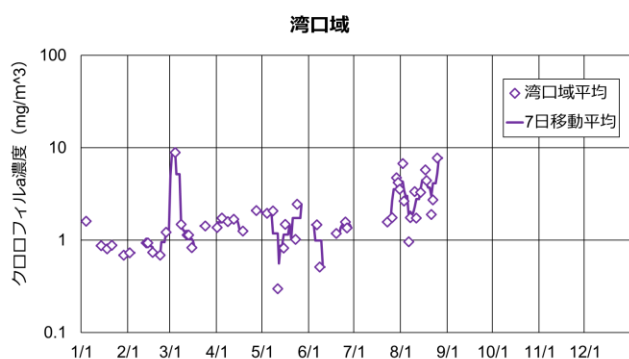
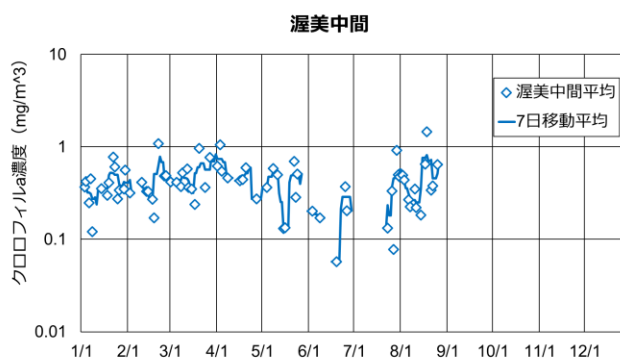
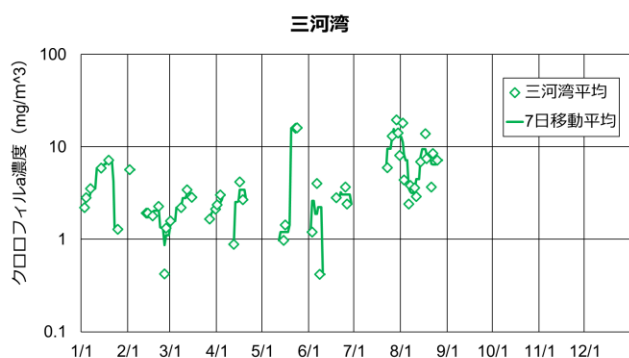
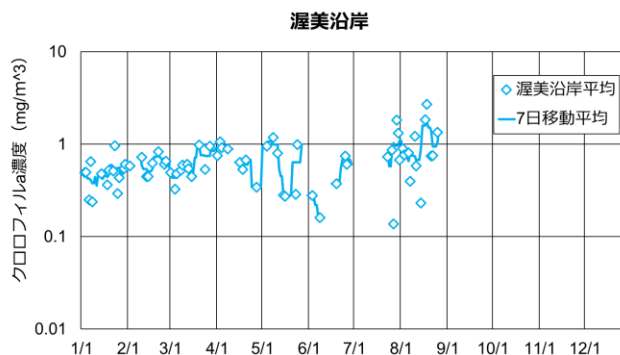
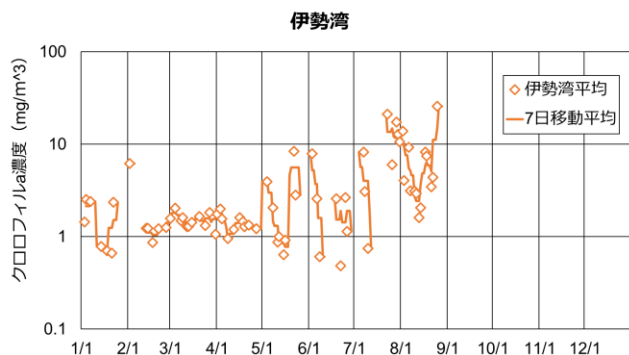


※画像データによるクロロフィル a 濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。

また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

海況速報（クロロフィル a 濃度の変動）

観測衛星「しきさい」に搭載された SGLI センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています。（令和元年 8 月 25 日までのデータ）



モニタリング地点